

株式会社ジェイコム東京 大田局

2022 年度 放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

2023 年 3 月 30 日(木) 11 時より

2. 開催場所

東京都大田区南蒲田 1-20-20

大田区産業プラザPiO 6 階 F 会議室

3. 出席者

委員長 : 千葉茂様

委員 : 佐藤拓様、小山君子様、桑田健秀様、中條毅様

事業者側 : 大田局 局長 渡邊安太郎、大田局 管理部長 三代川忠功

大田局 地域プロデューサー 勘山聡、大田局 営業部 中川憲太郎

映像制作第一部 拠点長 東照審

映像制作第一部 大田事務所 千田健二

株式会社ジェイコム東京 地域コミュニケーション統括部 安藤果那子

4. 委員長選出

千葉茂委員長が全委員の賛同をもって選出された

5. 報告事項

事業者側から 2022 年度の活動報告および、コミュニティチャンネル自主制作番組について報告

・令和 4 年度 大田局エリアの J:COM 加入状況

・J:COM グループのトピックス

・大田局における地域への取り組み

・暮らしを支えるサービス

・放送コンテンツについて

・ジモト応援！東京つながる News

・ジモトに乾杯！居酒屋秀ちゃん

・ふくあじ 東京編

事業者側から、昨年度の放送番組審議会にていただいたご意見について報告

- ・前回、羽田ヴィッキーズ、アースフレンズ東京Zの活動だけではなく、小中学校などプロではない身近なスポーツの活動も取り上げてほしいとのご意見をいただき、令和4年度は「わんぱく相撲」「ランニング教室」「ボッチャ」などのスポーツ活動をニュースで取り上げた。
- ・消防活動を取り上げてほしいとのご意見をいただき、令和4年度は12回ほど消防署や消防団の消防活動の取材を行った。

各委員からは以下のような意見が出された

- ・地域スポーツ(チアリーディング、ラグビーなど)を取り上げていただいた。
- ・消防のイメージを住民へ伝えてくれているのがJ:COMだと感じている。今年は、矢口消防署と矢口消防団が50周年を迎えるため取材をお願いしたい。
- ・つながるニュースについて、蒲田西口商店街前でのオープニングは街の温度感が伝わって好印象を持っている。
- ・コロナが収束して区内でのお祭り・イベントが開催されるので取材をお願いしたい。
- ・「迷惑電話自動ブロック」や「自転車生活サポート」について、ネーミングを使う側からみた表現、例えば「安心フォン」「だまされないフォン」などのほうが分かりやすいと感じる。

6. 議題(審議番組「ジモト応援！つながる News」、「ジモトに乾杯！居酒屋秀ちゃん」、「ふくあじ」)

委員からは、以下のような意見が出された

- ・大田区で頑張っている方々や経営者の台本のない生の声が聞けた。とてもいい番組なのでより多くの方々に観ていただきたい。昨今テレビ離れが言われており今後の課題と感じる。
- ・大田区の広報番組で区長の記者会見や区のイベントを取り上げてもらっている。今後も取材をお願いしたい。
- ・蒲田から出演されている方はそれぞれご自分の持ち味を活かしていて、蒲田らしさが出ていて好感が持てた。
- ・銭湯について、大田区も力を入れていてご高齢の方には補助を出しているので、J:COMでも宣伝していただきたい。
- ・番組を観ていてお店に行きたくなるが、それに加えておまけ的なものがあるとさらに多くの人に観てもらえるようになると思う。例えば、お店で「J:COMで観た」や「スマホでど・ろーかるを使っている」などと伝えると特典サービスを受けられるような仕組みがあると、お店に足を運んでみようとなるのでは。

- ・番組を観て「あの店だよね」とすぐわかる感覚が家庭や仲間での話題になる。キー局ではやらないような地元感覚で観られることが大事。
- ・様々な工夫を凝らし、特技を持った方がたくさんいらっしゃるが、そういった方々をこまめに取り上げることで映像が残り、またその映像を PR に使っていただくこともできる。
- ・スポーツの環境について、WBC でとても感動したが、世界が舞台の感動だけではなく地域でも感動できる場はたくさんある。子供たちが一生懸命にやっている姿を観られる場を地域とメディアで作っていくことが、地域のコミュニティーの核になっていくと考える。
- ・中学校の部活動について、外部指導者に関する制度が施行されたが、これは地域の大変革の要素があり、地域全体で応援する仕組みを作るチャンスだと思う。スポーツや文化面でも、子供が安心・安全で継続的に良質な指導を受けられる環境を作りたい。
- ・「ふくあじ」は、小山薫堂さんの「満腹・幸福・おふくろ」がテーマだが、人と食はつながっているものだと思う。なるべく多くの方に観てもらえるよう工夫してほしい。
- ・東京つながるニュースについて、せっかく屋外に出ていっているのにスタジオでできることをただ屋外でやっているように感じた。スタジオとは違う趣向をこらして番組作りをしてほしい。また、視聴者のターゲットを意識した仕掛けが必要と感じた。
- ・地元密着型の番組でますます地元に着がえが湧くし、区外の方へのアピールにもなるような番組作りはローカル局のいいところだと思う。

事業者側からは以下の発言があった

- ・今後、ニュースにおいて銭湯にまつわるイベントなどの活動を積極的に探して取材したい。
- ・J:COM を観たら特典がもらえるような企画について、他局でも実施しているので検討したい。
- ・中学校の部活動については、外部指導者に関する制度について地域ごとで試行錯誤していると聞くと、今後も行政へ取材し取り上げていきたい。
- ・「ジモト応援！つながる News」の撮影現場ではスペースがあるので、屋外ならではの演出をこれからは検討したい。

委員長からは、以下のような意見が出された

それぞれの立場で大変貴重な意見をいただいた。J:COM でも意見を吸い上げていただき、番組の改善につなげてほしい。

以上